

単元名 ききたいことを考えて、しつもんしよう

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意して話することができる。  
(2) 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。  
(3) 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりしようとする。

### 標準的な展開例

03010109\_001

【教材名】 もっと知りたい、友だちのこと/きちんとつたえるために

(上 P. 40～P. 45)

【準備等】 指導書付録CD（話し合いの様子）、スピーチメモ用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ★友達が話したいことは何かを考えながら聞き、質問をしたり、感想を言ったりしよう。 ○友達からさらに話を聞きたくなった経験を発表し合う。</p> <p>○「友だちの話をきいて、さらにききたいことを考えてしつもんしよう」という学習課題を設定し、学習の計画を立てる。</p> <p>2 学校や家での出来事から、友達に知らせたいことを決める。 ★友達に知らせたいことを決めよう。 ○友達と話を聞き合うために、自分が話し手として知らせたいことを決めて、ノートに書く。</p> <p>3 自分たちが普段はどんな話の聞き方をしているのかを話し合い、「よい聞き手」について考える。 ★質問や話の聞き方について考えよう。 ○教科書(P. 41)の表を見て、質問の種類や話の聞き方を整理する。</p> <p>4～6 友達の話を聞いて、質問する。 ★話を聞いて、もっと聞きたいことを質問しよう。 ○3, 4人のグループになり、一人ずつ話をする。</p> <p>○聞き手は、話を聞いて質問したいことをカードに書く。</p> <p>○カードに書いた中から、特に知りたいことを質問する。</p> <p>○友達の話や質問とその答えを聞いて、心に残ったことを伝え合う。 ○学習を振り返る。</p>	<p>・教科書(P. 40)を読み、学習の流れや学習課題をつかませる。</p> <p>・教科書(P. 41)下段のメモの例を参考にさせる</p> <p>・二次元コードを読み込み、動画「話を聞いてしつもんする」を視聴するとよい。</p> <p>・教科書(P. 44)「きちんとつたえるために」を学習し、相手にきちんと伝えるために落としはけないことや正しい指示語を理解させる。</p> <p>【評】 グループになって話をする活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・聞き手に、もっと知りたいことを考えながら聞かせる。</p> <p>【評】話を聞いて質問をカードに書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】特に知りたいことを選び、質問する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書(P. 43)「ふりかえろう」で、話を聞いて質問するときに大切だと思ったことを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押させる。</p>

【 備 考 】